

- 1 社会的養護が必要な人々の体験就労
- 2-3 介護保険とワーカーズ・コレクティブが担う福祉
- 4 NPO 法人から労働者協同組合へ 他

社会的養護を必要とする若者への支援 笑顔と自信を手にする体験就労

児童養護施設や里親など、社会的養護を巣立った若者たちは、頼れる大人の不在や虐待等の後遺症から自立が難しいケースが少なくありません。社会の中で自らの力を発揮して生きていくことを応援する民間の団体は複数あります。

協同組合等がネットワークし、社会的養護を必要としている若者の体験就労の場を提供しています。ワーカーズ・コレクティブもその一つです。埼玉県内の5つのワーカーズ・コレクティブが体験者を受け入れています。

体験を積むことで不安から自信へとつながる様子を、社会的養護が必要な若者への支援を行っている一般社団法人コンパスナビから伝えてもらいました。



蜂蜜の製造販売も体験に



蜂蜜などの販売会の様子

働くことをあきらめないために…

施設等を退所した若者の約半数が就職を選びますが、2年以内に40%以上が離職しています。人間関係の不調や仕事の継続が困難となり、働くことを諦めてしまう方も多くおられます。

しかし、「しごと」は単なる生計の手段ではなく、人と助け合い、関係を築き、自信ややりがい、生きがいを育む大切な機会です。

働くことに不安を抱える若者にとって、「しごと」を体験できる場は非常に貴重です。時間を守る、挨拶をする、会話を重ねる、メモを取る——そうした基本を一から丁寧に教えてくれる大人は多くありません。

社会への一歩を

体験就労プログラムに参加した若者たちは、最初は不安げな表情を見せていますが、終了時には笑顔と自信を手にしていきます。実際に、施設職員からは「生活リズムが整った」「社会に認められた感覚を得て、自信が持てるようになった」といった感想が寄せられています。

また、初めて受け入れた事業所の方々も、当初は「何かできる仕事を準備しないとイケないのでは」と不安を抱くことがありましたが、体験を終える頃には「若い人と一緒に働けて楽しかった」と、多くの方が前向きな手応えを実感されています。彼らが自立し、成長していくための一歩を踏み出す場を、ぜひ一緒に支えていただきたいと思います。

一般社団法人コンパスナビ 河本 稀英(かわもと きみえ)

受け入れ
事業所から

未来ある若者との仕事、
異世代交流

楽しい時間

おべんとう屋
はな

手先が器用で覚えるのが早い。今後も活躍できるでしょう。

キッチン
とまと

忙しい時に慌てずに冷静だった。

紬

のみこみが早く進んで仕事ができました。クレープを上手につくれました。

ふうっと

フットワークが軽く、楽しそうに仕事をされていました。

むすび食堂

丁寧にまじめにお仕事していました。

介護保険だけでは高齢社会はのりきれない

介護保険法は2000年4月に施行され、来る超高齢社会に対応する施策と、介護の社会化をうたいスタートしました。

3年毎に見直しがされています。40歳になると誰でも介護保険料の納付が始まり、当然、介護が必要となったら介護保険が利用できるものと考えます。しかし、やってきたのは人手不足と自己負担増です。

改定が進む介護保険法

介護の社会化はどこへ？

高齢化の進行と労働人口の減少、慢性的な介護人材不足、85歳以上人口の増加に伴う介護給付費の急増という社会背景のもと、2040年には現在の2倍の介護給付費が必要のため、介護保険は、2027年改正に向けて抜本的な見直しの議論が始まっています。

改正内容、介護保険料は大企業に流れる？・・・

1割から2割負担へ・ケアプランの有料化、
要介護1、2総合事業へ
設備が整った大企業が実施する事業に期待・・・

改正の内容は、利用の抑制と利用料金の値上げ・大規模事業者への期待を表す内容となっています。
年金受給者の受取額が平均14万円強の中で様々なものが値上がり、その上介護保険の負担増を公平性を理由に利用者に押し付けることは国の政策として問題です。
また、要介護1、2総合事業に移行されると訪問介護、通所介護(デイサービス)は経営が成り立たなくなることが予測できます。

深刻な介護員不足

全国にペルパーは212.6万人と言われています。
人手不足から介護現場の負担は増大しています。決して魅力のない仕事ではないけれど介護離れは進む一方で、撤退するデイサービスも増えているようです。
「保険料は納付しても介護サービスは受けられない・・・」なんてことが現実化しています。

非営利市民事業のはたす役割

総合事業は、介護保険が国から地区町村へ移行される部分です。国が対応することで始められた介護保険制度ですが、今回の改正を見ると再び家族介護に戻る方向に舵が切られているように見えます。
各市町村の動向を注視し、非営利の市民事業、ワーカーズ・コレクティブ等が総合事業を担うことで少しでも良い方向に向うのではないでしょう？

コミュニティケアクラブ埼玉 岡田伸幸

いつでも・だれでも
ごはんもある

こうさてん

いつ来ても良い。誰でも歓迎。温かいご飯やお茶を囲んで自然に会話が生まれ、気づけば支え合える関係が育っていく——そんな場を思い描き「コミュニティカフェ幸茶店」を運営しています。
ひとり暮らしの高齢者が「家庭の味だ」とご飯を食べに来る。障害のある方がイベントを心待ちに通ってくれる。小中学生が宿題を広げ、社員が仕事の合間に一息つく。
長期休みには放課後等デイサービスの開始時刻を待つ子どもたちも、笑い声を響かせています。
二軒隣に『コミュニティショップくるくる』を開きました。不用品を持ち寄り、交換できる場です。そこは今、ボランティアが店番をし、誰もが集える「無料の居場所」となっています。

鴻巣市吹上 労働者協同組合こうさてん

輪っはっは

住み慣れた地域で
いつまでも
柔軟な対応が
喜ばれている



高齢期を元気に過ごすためには多様なサービスが必要です。孤立や孤独を防ぐためのサービス、健康的な食、行きたいところに行くことができるサービスが整ってこそ人としての尊厳を保ちながら最後まで地域のつながりの中で暮らしていけるものです。



買い物、お墓参り
通院などなど

きらきら館

介護保険の対象にならないサポートを行っています。利用者の9割の方が移送サービスを利用しています。例えば、病院、買い物、役所、銀行、美容院、お墓参りなどへの移送です。移送先では同行しサポートも行っています。移送サービスや病院内の付き添いは介護保険が適用されないのです。
きらきら館の利用者から「きらきら館があってよかった」「きらきら館がなくなったら困るからね」とよく言われます。
「近くに子供がいても、忙しそうだから頼みにくい」「近所の人に頼むとお礼など気をつかう」「タクシーは予約を受け付けてくれない。電話したその時に空がないと来てくれない」「加須市には乗り合いタクシーや巡回バスがあるけれど、運行範囲が決まっており、利用しにくい」
自力では、希望した時間に希望する場所に行けないもどかしさを感じていると思います。その「もどかしさ」の解消に「きらきら館」がお役に立てているのだと思います。

加須市 NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ
きらきら館

ワーカーズ・コレクティブが 担う福祉 居場所、移動、日常の生活支援



利用者は介護保険を受けている方、いない方、赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる年代の方たちです。介護保険のヘルパーさんが「あーっ、あと10分あれば、これもできたのに」とつぶやきます。そんな時、「輪っはっは」なら、利用者の同意があれば、時間延長ができます。通院の付き添いも柔軟に対応しています。
介護保険のサービスは、介護認定を受けた方に関することが対象ですが、「輪っはっは」は、一緒に暮らす家族に関すること、掃除・洗濯・買い物・食事作りなども手伝うことができます。
最近は遠方に住む家族から、一人暮らしの高齢の親御さんの家事サポートの依頼が増えています。
施設にいらっしゃる方の隣接する病院への付き添いや、近くのスーパーで少しの買い物をすることがありますが、30分ほどで終わります。
このような場合、施設のスタッフが行えたら良いのに、と思うことがあります。介護保険の利用枠を超えた時、利用対象にならない時の依頼にできる限り対応しています

所沢市・志木市 労働者協同組合 W.co たすけあい輪っはっは

すすむ、労働者協同組合への組織変更

長く、私たちワーカーズ・コレクティブ等が求めてきた法律、「労働者協同組合法」は2022年に施行されました。これまで企業組合、NPO等の既存の法人格で運営してきた事業体が、自分たちの実態に一番近い法人格として労働者協同組合に組織変更を行っています。出資している組合員が労働基準法に準拠して働くとする法律は日本では初めての法律です。課題に向き合いながらも組織変更を機会にさらにステップアップしていくことを目指し活動する「てとて」の様子を伝えます。



事業拡大、仲間の拡大を期待

ワーカーズ・コレクティブてとては、今後も運営を継続していくうえで協への組織変更は必要不可欠と考え、NPOから労働者協同組合への移行を決定しました。県内のワーカーズ・コレクティブ等に手助けをいただきながら、「てとて」メンバーも一人ひとりが自分の得意分野のスキルを生かし、総動員で変更の手続きを行いました。

新定款の作成、就業規則作成など労働基準法への準拠…

自分たちの働き方を改めて捉え直す機会になりました。

ただ、労働者協同組合で求められる事業性と、ワーカーズ・コレクティブとして実現したい理想や理念とのバランスが難しいとも感じています。

今後、最低賃金が支給できる事業の拡大や工夫など課題は尽きません。

しかし、仲間と共に自分たちで働き方を決め、前へ進んで行く醍醐味を感じています。法人格移行をきっかけに、働く仲間が増えることを期待しています。

労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブてとて

代表理事 邨山真理

募集

労働保険事務組合 事務委託をされる事業所を 募集中！

労働保険の手続き事務について事業者の皆さん、どうされていますか？事務組合は、事業所さんに代わり労働保険の加入手続きや保険料の計算、納付などの事務を行う組合です。

事務委託費 月/1,500円

各種相談にも…

雇用保険加入、脱退の手続き、労災事故の補償などについてのアドバイス。

労働基準法に基づいた就業規則の作成についての相談など労働保険関連の相談にも対応しています。

連絡先：一般社団法人埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会
電話・FAX 048-767-7511

組織変更した ワーカーズ・コレクティブ

- ★「特定」労働者協同組合つとて
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ ハニーBee
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ そら
- ★ワーカーズ・コレクティブ
SOU 労働者協同組合
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ 旬
- ★労働者協同組合
W.co たすけあい輪っはっは
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブクローバー
- ★労働者協同組合こうさてん
- ★つくし労働者協同組合
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ てとて
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ わかば
- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ食べものや

新規設立ワーカーズ・コレクティブ

- ★労働者協同組合
ワーカーズ・コレクティブ
トラステッドふーず